

Laney™



IN COLLABORATION
WITH

**DB-EAST
USER MANUAL**

DIGBETH

コンテンツ

はじめに	2
特徴	4
コントロール	5
フロントパネル	5
背面パネル	7
コネクション	9
スピーカー接続	9
追加の背面パネル接続	10
ブロック図	11
APP11	12
ダウンロードとインストール	12
ウィンドウズ	12
マック	12
LA-IR アップデート	12
ファームウェアアップデート	12
アプリの使い方	13
DB-EAST	13
IRの変更	13
ゲインの変更	13
EQ	13
設定パネル	15
仕様	16
寸法 (mm)	17
安全と警告	18

導入

ベースに関して言えば、ネイサン・イースト以上に尊敬されている人はいません。

ネイサン・イーストは、間違いなく史上最も多作なベーシストの一人であり、エリック・クラプトン、マイケル・ジャクソン、スティーヴィー・ワンダー、フィル・コリンズ、トト、ダフト・パンク、チック・コリアなど、数え切れないほど多くのアーティストとレコーディングや演奏をしてきました。

数年前、ネイサンがレニー・ディグベス・ファミリーに加わったとき、私たちは興奮しました。

私たちは当初からネイサンと緊密に協力し、妥協することなく彼のツアーや演奏生活のさまざまな要件を満たすように設計された新しいアンプを開発してきました。

私たちは、唯一無二の Nathan East とのコラボレーションにより、DIGBETH FAMILY に新たに加わった DB-EAST を発表できることを大変誇りに思います。

ネイサンは DIGBETH のサウンドを聞いた瞬間にその音に夢中になりました。ですから、私たちは正しいサウンドができたと確信しており、あとはそれをもっと柔軟にする必要があるだけだと思いました。

そこで、デュアル入力から始めました。

DB-EAST には、2つの楽器を同時に接続できる入力が1組備わっています。Nathan の場合のように、アコースティックベースとエレクトリックベース、または4弦と5弦、アクティブベースとパッシブベースなど、お好みに合わせて接続できます。これにより、スイッチを切り替えるだけで、ベースを別のベースに簡単に切り替えることができます。両方の入力は同じ音色特性を持ち、入力2にはトリムポットが備わっており、アコースティック、アクティブ、パッシブのさまざまな出力レベルのベースを合わせることができます。

フロントパネルまたは背面のフットスイッチソケットに接続して、入力を切り替えるだけです。

DB-EAST プリアンプは、DIGBETH に期待されるすべての機能を備えています。切り替え可能でブレンド可能な FET および TUBE 入力ステージ、切り替え可能なミッドボイシングオプションを備えた強力な3バンドEQ、強力な TILT 機能、さらに MASTER VOLUME を備えています。また、DB-EAST パネルには、ステージライトの下でもユニットが読みやすく、非常に魅力的な外観になる新しい低反射ノブも搭載されています。

DB-EAST には LA:IR 搭載の DI 出力が2つあります。各入力はプリアンプを経由して専用の DI 出力にルーティングされます。DB-EAST の入力を切り替えると DI 出力も自動的に切り替わるため、複数のベースを使用する際に完全な柔軟性が得られます。

デュアル切り替え可能入力と LA:IR 搭載 DI 出力により、各楽器専用の出力を FOH に供給し、デスクで個別に EQ 調整することが可能になります。チャンネルを共有して、1つのベースと他のベースの間で妥協する必要がなくなります。

DI 出力に LA:IR テクノロジーが組み込まれているため、無料の LA:IR アプリを使用して、いつでも最適なキャビネット IR と EQ を追加し、完璧なベースサウンドを得ることができます。

LA:IR テクノロジーにより、DIGBETH-EAST に DI 出力ごとに1つずつ、合計2つの IR を保存できますが、無料の LA:IR APP ではそれ以上の IR にアクセスできます。各 IR には、IR ごとに独立した8バンドパラメトリックEQを設定できます。そのため、特定のアプリケーションに合わせて微調整する必要がある場合は、特定の会場や録音シナリオに最適な設定にすることができます。非常にパワフルです。DB-EAST には、Nathan のお気に入りのキャブ(チャンネル1に DBV410、チャンネル2に DBV212)の IR セットが付属しています。

DB-EAST には、LA:IR APP に接続するための USB C ソケットが搭載されており、オーディオ入出力もサポートしているため、お気に入りの DAW で直接使用でき、静かに録音するのに非常に便利です。

DIGBETH-EAST は、デュアルスピコン® 互換出力を備えています。各出力は独立した500ワットのモノブロックアンプに接続され、ステージ全体に十分な電力を供給します。

DB-EASTは、その音色と汎用性により、ネイサンの幅広いギグで頼りになるアンプとなっています。

偉大なベーシスト自身の言葉を借りれば、「これはゲームチェンジャーだ」。

DRAFT

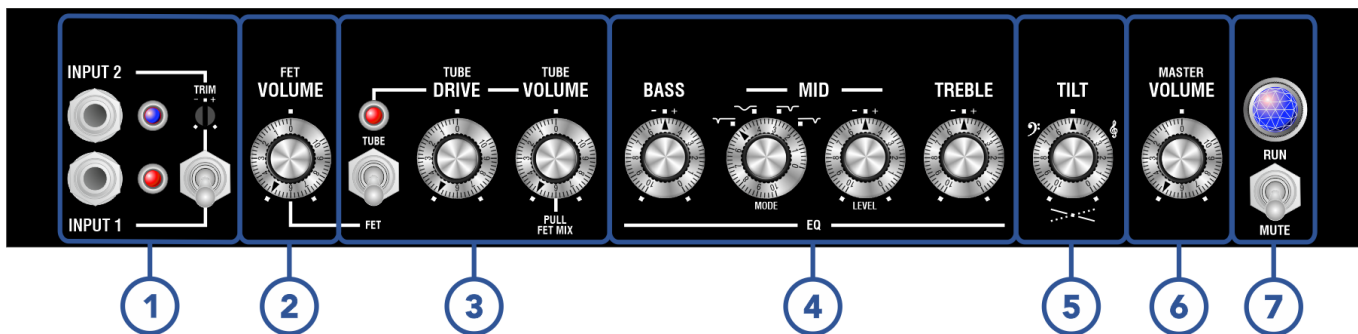
特徴

- リモート切り替え機能を備えたデュアル入力。
- それぞれ独立した LA・IR、ポスト、プリセット設定を備えたデュアル DI。
- 2 x 500W RMS出力。
- ミックス付きのFETとチューブのチャンネル。
- リモートドライブとミュート。
- USB C®クラス準拠のオーディオIN/OUT
- LA・IR ソフトウェアの更新、IR および EQ の設定、お気に入りの IR のインポート用のアプリ。

DRAFT

コントロール

フロントパネル



1. 入力ステージ

ユーザーの柔軟性を高めるために2つの6.35mmジャックソケットが用意されています。両方の入力は幅広い信号レベル範囲に対応しているため、パッシブベースギターとアクティブベースギターの両方に適しています。注: 一度に使用できる入力は1つだけです。

隣接するトグルスイッチは、LED(入力1の場合は赤、入力2の場合は青)で「ライブ」入力を選択し、選択ステータスを一目で簡単に確認できるようにします。チャンネル選択はリモートで切り替えることもできます。

TRIMコントロールは、入力2にレベルシフトを適用して、2つの入力間の信号レベルのバランスをとるために使用されます。これを使用して、たとえば、2つの異なるパッシブベースギター間、またはパッシブギターとアクティブギター間の信号レベルのバランスをとることができます。あるいは、同様の出力レベルを持つ2つのギターを意図的に異なるレベルにすることもできます。

2. FETボリューム

FETチャンネルのレベルを制御します。このチャンネルは、低域で明瞭でパンチのある、クリーンで高速なレスポンスを提供します。

3. FET/チューブ

FETチャンネルとTUBEチャンネル間で選択したチャンネルを変更します。SWITCHをTUBEに設定し、TUBE VOLUMEをPULL位置に設定すると、MIXモードが有効になります。これにより、FETチャンネルとTUBEチャンネルがブレンドされます。

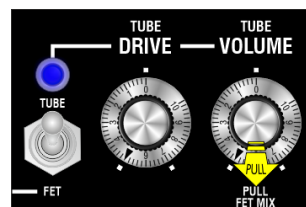
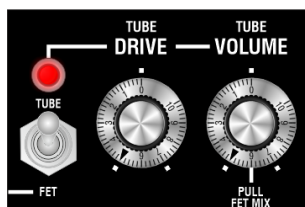
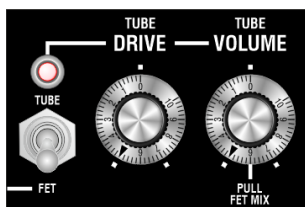
FET/TUBEはリモートで切り替えることもできます。

チューブドライブ

TUBEチャンネルのプリゲインの量を設定します。低い設定では、TUBEチャンネルに微妙なオーバードライブがかかり、特徴的な温かみのあるサウンドが加わります。高い設定では、TUBEチャンネルが強くプッシュされ、うなり音や歪みが増します。

チューブボリューム

TUBEチャンネルのポストゲインレベルを制御します。TUBEドライブコントロールと組み合わせて使用すると、適切なボリュームで完璧なオーバードライブトーンが得られます。TUBE VOLUMEコントロールをプルして、TUBEとFETチャンネルの両方を組み合わせることもできます。これにより、両方のチャンネルの音響的利点をブレンドできます。少しざらついたクリーントーンや、パンチの効いた低音を伴う歪んだトーンに最適です。



FETモード。

TUBEモード。

MIXモード。

4. イコライザー

BASS – このコントロールを上げると、サウンドに低周波が追加され、サブを増やすのに最適です。このコントロールを下げると、低周波がカットされ、低域のフィードバックを抑えたり、濁ったサウンドをクリーンにしたりするのに役立ちます。

MID モード - 4 ポジションのロータリー スイッチ - 各ポジションで異なるプリシェイプ EQ サウンドが適用されます。

選択した位置は、MID LEVEL CONTROL と連動して機能します。

ポジション 1 - ドラマーと一緒に演奏するときベースに明瞭度を与えるのに最適な、狭い低中域カット。キックとスネアにスペースを与えるには後ろに引き、ベースをドラムの前に押し出すには上に上げます。

ポジション 2 - より広い中音域コントロールにより、低音のうなりが強調されます。これは、歪んだトーンに鋭さを加えたり、中音域をカットして明瞭度を高めたりするのに非常に便利です。

ポジション 3 - ポジション 2 と同様に中音域が狭い設定ですが、より洗練されていて攻撃性は低く、スラップトーン用にベースをスクープしたり、歪んだギターを演奏するとき明瞭度を高めたりするのに適しています。

ポジション 4 - 中高音域の設定。ベースのポップ音に集中したり、フレット ノイズを抑えたりするのに最適です。

中級レベル

このコントロールは MID MODE コントロールと連動して動作し、MID バンドをブーストまたはカットするために使用されます。

トレブル

高周波数をブーストして、サウンドのトップエンドの明瞭度を高めます。コントロールを下げると高周波数が除去され、サブウーファーのメロウなサウンドに最適です。

5. 傾き

トーンの全体的なバランスをコントロールするのと同じように機能します。高音部記号に向かって時計回りに回すと、低周波数が下がり、高周波数がブーストされます。低音部記号に向かって反時計回りに回すと、その逆になります。このコントロールは、全体的なトーンを微調整し、どのような状況でもトーンが機能するようにするのに最適です。

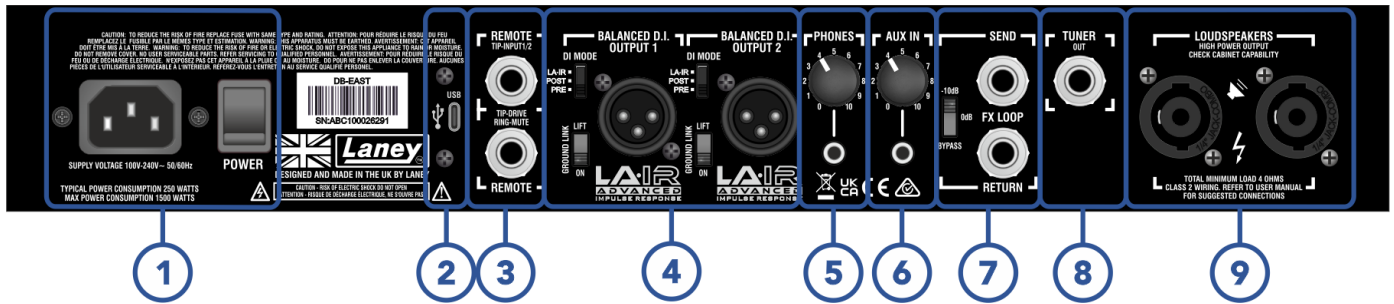
6. マスターボリューム

入力および EQ ステージで達成されたトーンと色彩を維持しながら、全体的な出力レベルをすばやく調整できます。

7. スタンバイ/実行スイッチ

アンプの出力段を素早く簡単にミュートします。実行モードでは、ジュエル ライトが連続的に点灯し、スタンバイモードでは点滅します。スタンバイでは、スピーカー出力はミュートされますが、PHONES、FX-SEND、DI、TUNER 出力には信号が残っています。

背面パネル



1. パワー

IEC C14 ソケット経由のユニバーサル電源入力。110V ~ 240V の AC 電源が使用可能で、DB-EAST アンプでの電圧選択や調整は必要ありません。電源スイッチは、オフの位置で完全な電源分離を提供します。

2. USB Cポート

Windows または MacOS コンピューターに接続し (付属の USB C ケーブル経由)、DB-EAST を LA-IR アプリに接続します。オンボード IR を更新し、使いやすい 8 バンド EQ グラフを使用して EQ を個別に変更します。USB C ポートは AUDIO IN/OUT もサポートします。オーディオ IN はスピーカー出力にのみ送られ、DI-OUTPUTS には送られません。DAW へのオーディオ OUT は、現在選択されている DI 出力に従います。アプリ

3. リモートソケット

フットスイッチを接続するための 2 つの 6.35 mm ジャック ソケットにより、アンプの機能にアクセスできます。上部のソケット チップ接続により、ユーザーは入力ソース (INPUT 1 または INPUT 2) を選択できます。リモコンを動作させるには、フロント パネルのトグル スイッチを INPUT 2 に設定する必要があります。下部のソケットには、チップ接続で FET/TUBE チャンネル スイッチ (フロント パネルのトグル スイッチが TUBE の位置) が提供され、リング接続で AMP MUTE (フロント パネルのトグルが MUTE に設定されている) が提供されます。

LANEY FS1-MINI および FS2-MINI フットスイッチリモコンを推奨します (付属していません)

4. DI出力

2 つのバランス XLR 出力があり、OUTPUT 1 は INPUT 1 から、OUTPUT 2 は INPUT 2 から供給されます。どちらも独立したモード スイッチを備えており、ユーザーは信号ソース ポイントを選択できます。DB-EAST ヘッドには、Nathan のお気に入りの Laney Digbeth キャビネットの 2 つの独立した IR が付属しています。DI-OUTPUT 1 には D BV410 キャビネットの IR が、DI-OUTPUT 2 には DBV212 キャビネットの IR が付属しています。これらの IR はそれぞれ、LA-IR アプリを介してアクセス、EQ 調整、調整し、DB-EAST に保存できます。LA-IR アプリでは、独自の IR をインポートすることもできます。

PRE –アンプの前段から供給される信号。FET/真空管チャンネルと EQ の前。

POST – FET/チューブのポストゲインと EQ コントロール。補助入力も含まれています。

LA-IR – POSTと同じですが、保存されたIRの音声が含まれます。LA-IR 各DI OUTごとに異なる可能性があり、LA-IRを介してユーザーが代替案を利用できる。アプリ。

注意: 入力2のTRIMコントロールは、PREではDI 2からの信号出力レベルには影響しませんが、POSTおよびLA-IRでは影響します。モード。

GROUND LINKスイッチは各 DI 出力に対して独立して使用でき、他の機器に接続するときにアースループによって誘発されるオーディオ ハムを防止または軽減するために使用されます。

5. 電話

モニタリングやサイレント練習用の独立したボリュームコントロールを備えた 3.5mm ジャック。PHONES 出力は、現在選択されている入力の DI モード選択 (PRE、POST、または LA-IR) に従います。

6. 補助

外部音源を接続するためのボリュームコントロール付き 3.5mm ジャック。オーディオトラックに合わせてジャムセッションを行うのに便利です。Aux 信号はアンプの出力にルーティングされますが、POST/LA·IR の DI/Phones 出力にのみルーティングされます。モード。

7. FXループ

これらのソケットは、外部エフェクト デバイスをアンプに接続するために使用します。送信ジャックを外部デバイスの入力に接続し、戻りソケットを出力に接続します。FX ループ (Aux 入力の横) は、マスター ボリュームを経由してアンプに直接送られます。

スイッチには 3 つの設定が用意されています。

BYPASS は FX ループに接続されているものをすべてスキップします。

-10dB、**0dB** は、使用するアウトボード ギアに応じてレベルシフトを提供します。一般的に、FX ペダルを使用する場合は FX ループを -10 に設定し、ラック ギアを使用する場合や歪みが聞こえる場合は 0dB に設定します。

8. チューナーアウト

外部チューニングデバイスをここに接続します。DB-EAST がミュートモードの場合でも、純粋な入力信号が TUNE R ソケットにルーティングされ、サイレントチューニングが可能になります。入力スイッチの設定に従います。

9. デュアルスピーカー出力

2 つの SpeakON 互換コンボ出力は、最小 4 オームのスピーカーに最大 500W RMS を出力します。6.3mm ジャックまたは高出力定格の NL2 SpeakON タイプ コネクタのいずれかに適しています。ほとんどのアプリケーションでは NL2 コネクタの使用をお勧めします。両方のスピーカー出力は独立して動作し、内部で別々のアンプブロックに結合されています。

DB-EAST に不要なストレスがかからないように、各ソケットに接続されたインピーダンスの合計が 4 オーム以上であることを確認してください。

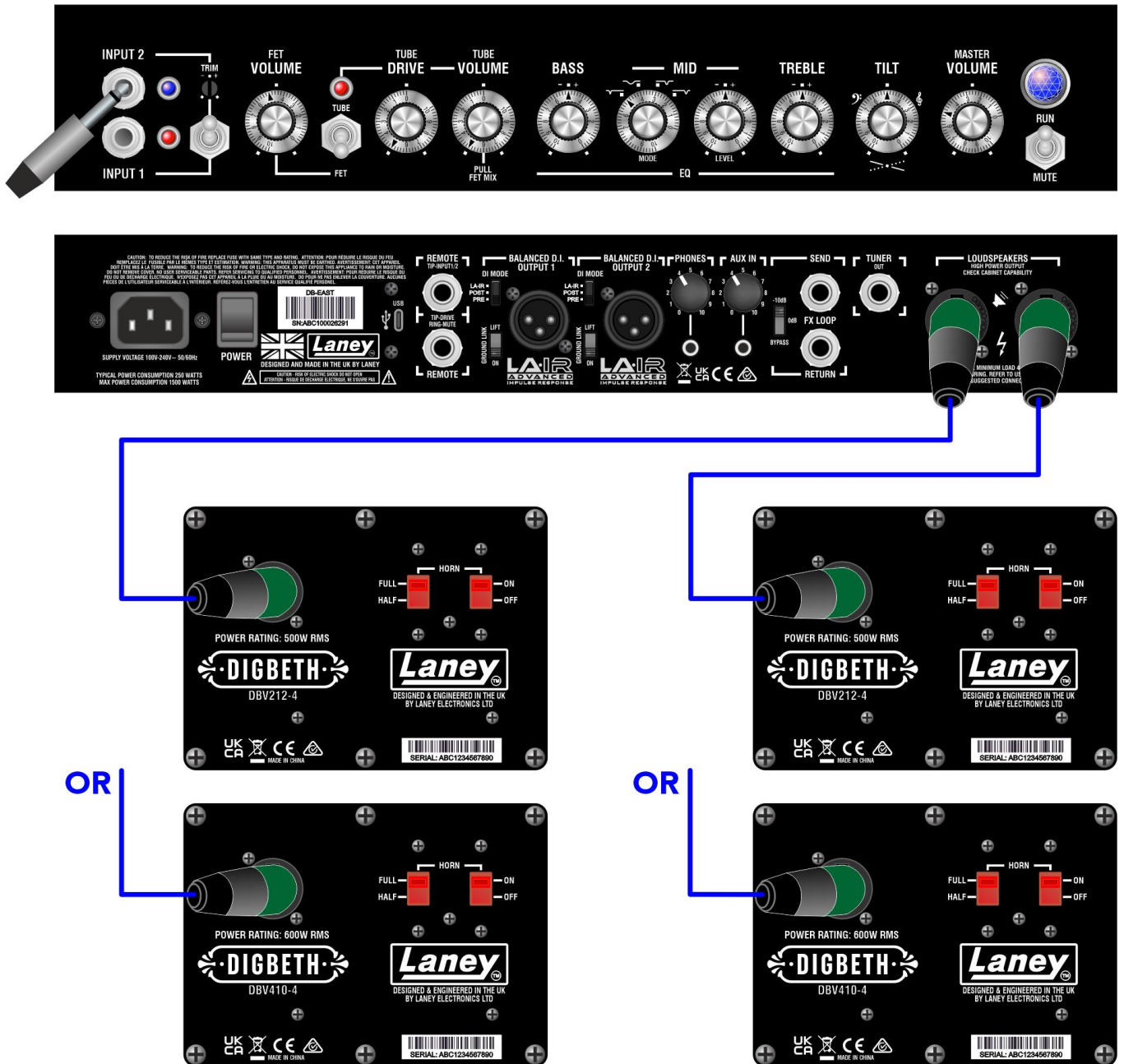
スピーカー出力を接続しないままでもまったく問題なく、DB-East アンプが損傷することはありません。

接続

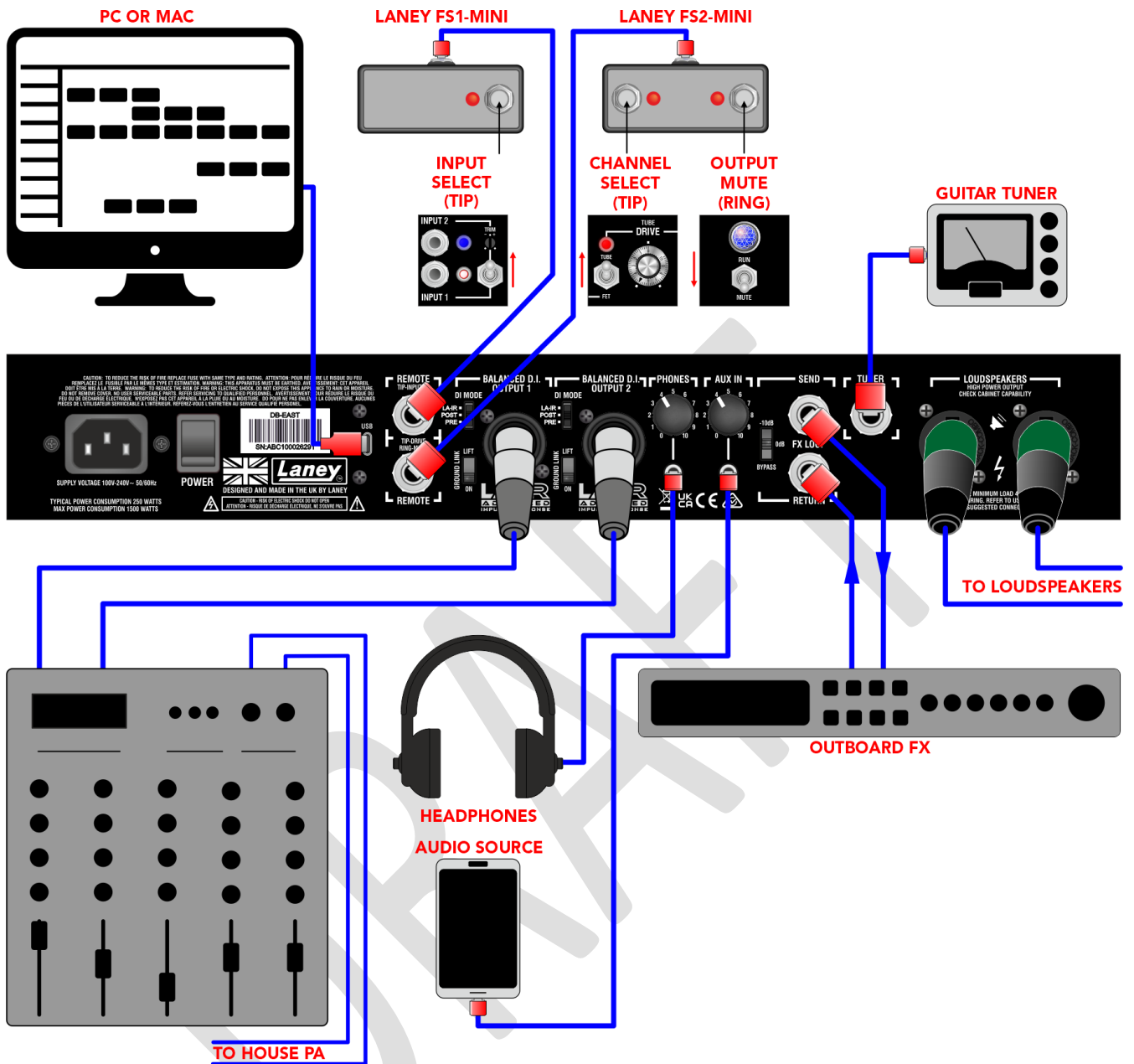
スピーカー接続

Laney は、DB-EAST アンプを補完するために Digbeth シリーズ キャビネットを推奨しています。現在、最大出力の 4 オームで DBV212、DBV410、DBV810 のオプションが提供されています。

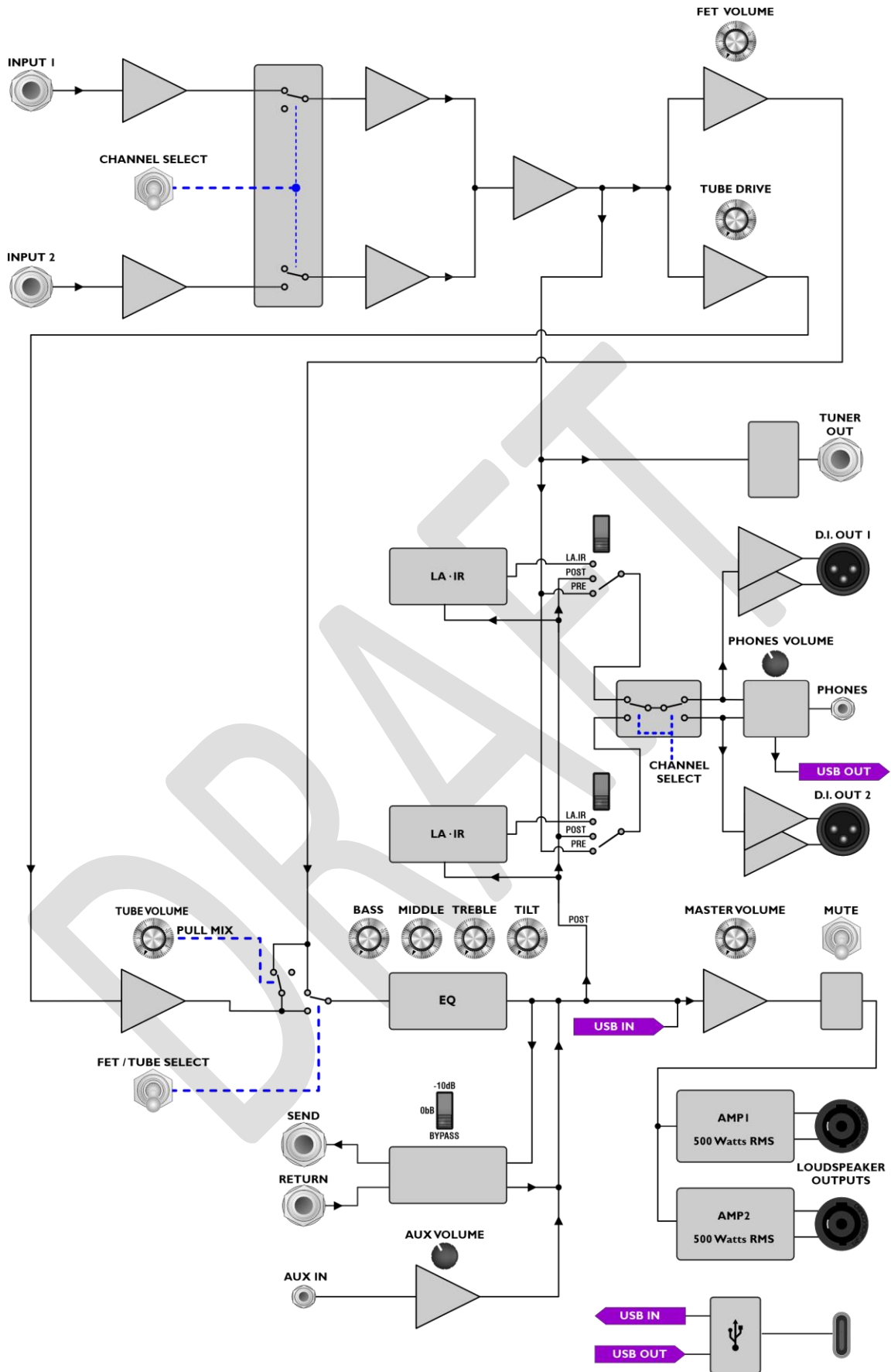
両方のスピーカー出力は独立して動作し、各出力に異なるキャビネットを接続したり、一方または両方の出力を接続しないままにしたりしてもまったく問題ありません。



追加の背面パネル接続



ブロック図



アプリ

DB-EAST を購入すると、Laney の LA-IR アプリにアクセスできます。このアプリを使用すると、プリロードされた IR を独自の IR に切り替えて DB-EAST のサウンドをさらに拡張できるほか、各 DI 出力に 8 バンドのパラメトリック EQ を提供できます。

これらはすべて練習中に即座に実行できるため、練習しながら音の変化を聴くことができます。

このアプリは Windows 10/11 および Mac OS で動作します。

ダウンロードとインストール

ソフトウェアを受け取るには、まず [Laney 保証ページから製品を登録してください](#)。登録を送信すると、インストーラー (MAC または WINDOWS) のダウンロード リンクが提供されます。

ソフトウェアをダウンロードするためのリンク あなたのメールにも転送されます。

ウィンドウズ

ダウンロードしたら、*Setup-LAIR_x64.exe* を実行します。ファイル エクスプローラーのダウンロード フォルダにあります。インストーラーの指示に従って、EULA に同意し、インストールに適した場所を選択し、[インストール] を押して完了します。

マック

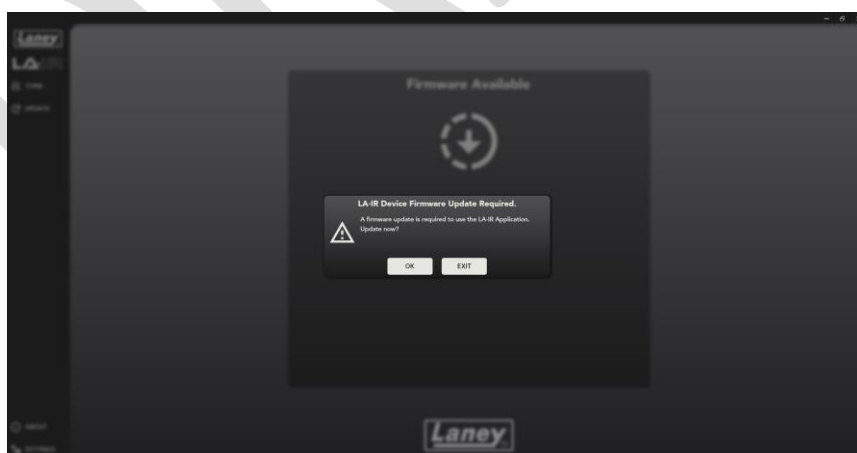
.dmg ファイルをダウンロードしたら、これをアプリケーション フォルダにドラッグしてインストールを完了します。今後はこのフォルダの場所から LA-IR アプリを起動します。

LA-IR アップデート

新しいバージョンがリリースされた場合、アプリの起動時に自動的に更新を求められます。更新には新しい機能やバグ修正が含まれる可能性があるため、更新を受け入れることをお勧めします。

ファームウェアアップデート

同様に、DB-EAST を接続して電源を入れると、ファームウェアのアップデートが利用可能になった場合に通知されます。繰り返しになりますが、ユーザー エクスペリエンスを向上させるために、アップデートがある場合はすべて許可することをお勧めします。



マイナーアップデートはポップアップとして表示されない場合がありますので、アップデートパネルを定期的にチェックして、アップデートにアクセスできるようにしてください。

アプリの使い方

DB-EASTの接続

DB-EAST の接続は、付属の USB C ケーブルで簡単に行えます。ケーブルの一方の端をヘッドの背面にある USB C ソケットに差し込み、もう一方の端をアプリをダウンロードしたコンピューターに差し込みます。

お使いのコンピューターに USB A ソケットしかない場合でも、USB A から C へのアダプタも付属しているのでご安心ください。

IRの変更

プリロードされた2つのIRのほかに、アプリを使用して独自のIRと交換することもできます。独自のユーザーIRをロードするには、キャブA/Bの下のドロップダウンボックスをクリックし、「IRのインポート」を選択します。*.wav*のみファイルは使用できますが、48kHzのサンプルレートであることを確認してください。アプリはIRを内部で使用される*.Lair*ファイル形式に変換します。心配しないでください。元の*.wav*ファイルは削除されません。Laney独自のDBV410およびDBV212キャブIRも2つアプリに含まれています。



ユーザー IR の名前を編集したり、アンプやアプリから削除したりすることができます。これを行うには、「ユーザー」セクションの任意の IR を右クリックし、「編集」または「削除」を押します。デフォルトのシステム IR は削除できません。

警告: ユーザー IR を削除すると元に戻すことはできません。IR を復元する唯一の方法は、元の .wav ファイルを再インポートすることです。

ゲインの変更

各キャビネット IR のゲインは、音量が大きすぎる/小さすぎる場合は、右側のラジアル コントロールを使用して個別に変更することもできます。このゲインは IR の *.Lair* ファイルに保存されるため、アプリなしでアンプを使用する場合でもそのまま残ります。

をドラッグするか、マウスのスクロール ホイールを使用するか、ダブルクリックして必要なゲイン (dB 単位) を手動で入力します。範囲は -40dB から +6dB です。

EQの変更

LAIR アプリには、各 DI 用の 8 バンド パラメトリック EQ も付属しています。5 種類のフィルターが用意されており、使いやすいコントロールと組み合わせることで、適用されたフィルターに応じてゲイン、周波数、Q 係数を変更できます。

警告: 保存せずにアプリを閉じるか切断すると、EQの変更は永久に失われます。



1. EQトグル

両方のDIのEQをオン/オフにします。ドライ/ウェットテストに役立ちます。

2. A+Bリンク

DI 1+2のEQを同じになるようにリンクします。押すと、DI 1のEQに従います。リンクを解除すると、DI 2は以前の状態に戻ります。

3. DIキャブセレクト

EQを編集するDIを選択します。選択したDIは黒で強調表示されます。

4. バンドコントロール

各EQバンドの主なコントロールはここにあります。バンドのオン/オフを切り替え、ドロップダウンメニューから適用するフィルターを変更します。ピーキング、ハイ/ローパス、ハイ/ローシェルフから選択します。

さらに、フィルターのゲイン、中心周波数、Q係数を変更するために、3つの放射状スライダーが用意されています。各スライダーの値は、ドラッグするか、マウスのスクロールホイールを使用するか、数字をダブルクリックして手動で希望の値を入力することで変更できます。選択したフィルターに応じて、これらのコントロールが1つまたは複数使用可能になります。

5. 周波数応答グラフ

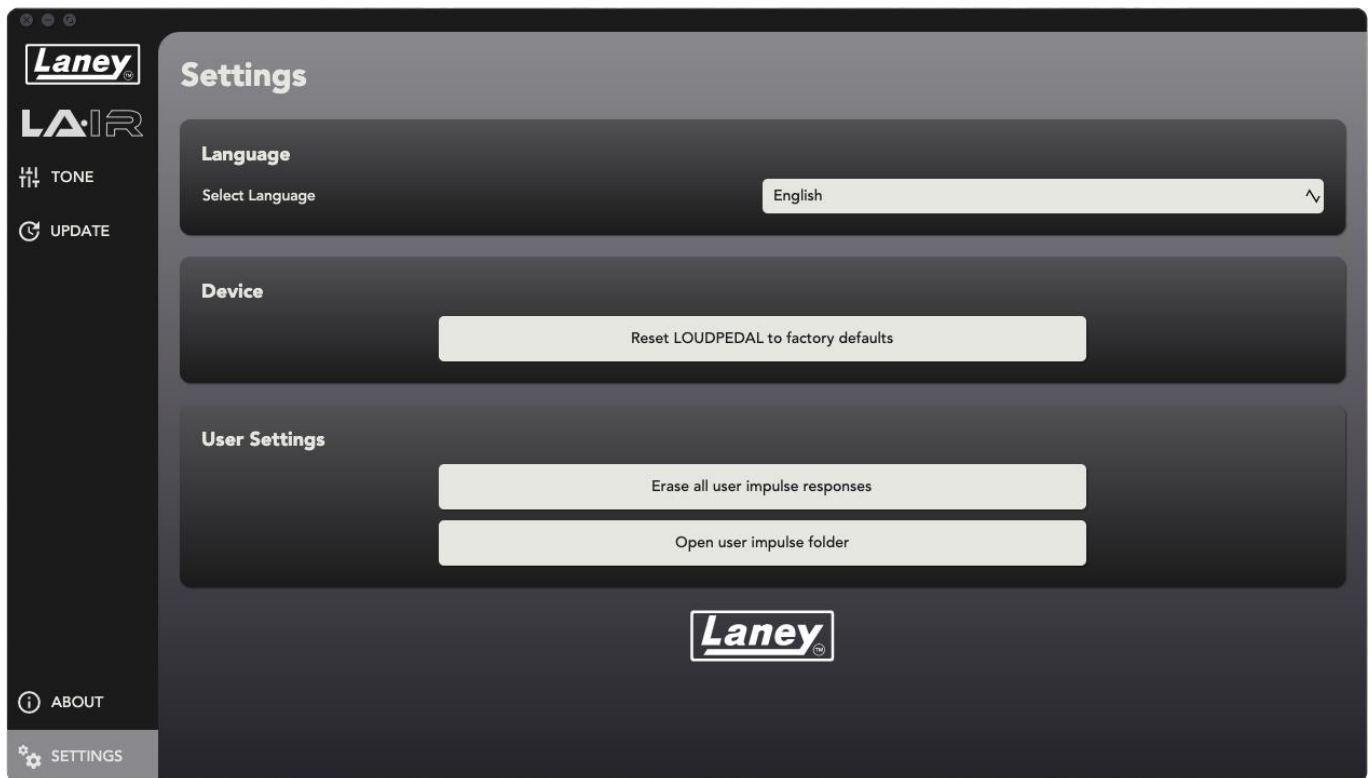
このグラフには、すべてのEQバンドの最終的な周波数応答が表示されます。変更をリアルタイムで表示して、サウンドがどのように影響を受けるかを簡単に確認できます。さらに、各バンドは色分けされているため、どのフィルターが何を実行しているかがわかります。

6. バンドノード

グラフには、現在アクティブな各バンドを表す番号付きノードも表示されます。現在の中心周波数とゲインが表示され、ドラッグしてすばやく簡単に変更できます。より正確な変更を行うには、バンドコントロール(4)を使用することをお勧めします。

7. 保存

これを押すと、EQ(AとBの両方)への未保存の変更が保存され、ペダルに保存されてアプリなしで使用できるようになります。保存されていない変更がある場合は、アプリを閉じると(またはペダルを切断すると)これらの変更が失われることを警告するためにこれが表示されます。



言語

LA-IR アプリの言語をお好みの言語に変更します。

デバイスをリセット

これにより、すべての EQ とゲインの変更がリセットされ、IR がデフォルトの Nathan East のものに帰ります。これは元に戻すことはできず、デフォルトからのすべての変更は失われます。

ユーザー IRS の消去

アプリから**すべてのユーザー IR**を削除します。元の.wavファイルを再度インポートしない限り、これらを復元することは不可能なので、この操作を実行するかどうかは必ず確認してください。削除する前にポップアップ警告が表示されます。

ユーザーIRフォルダを開く

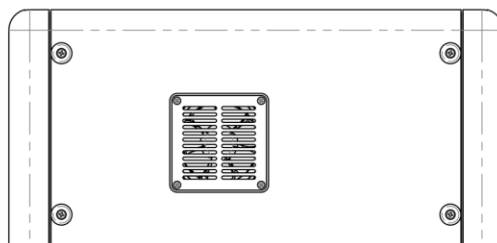
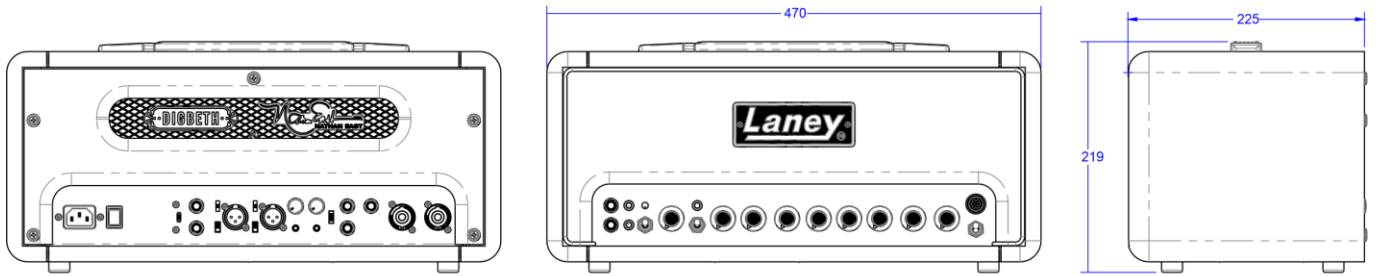
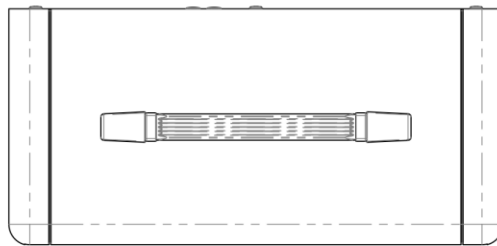
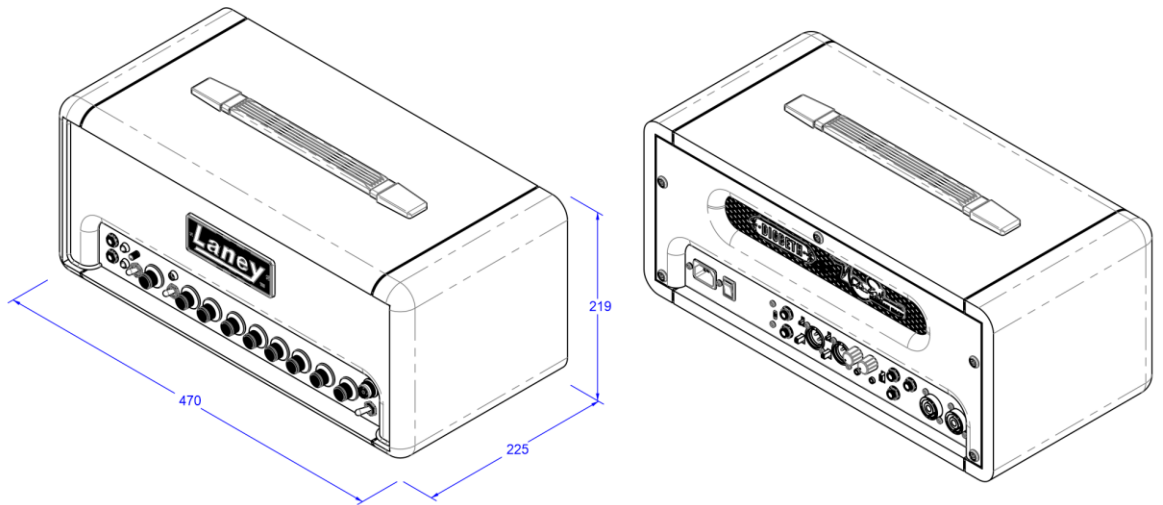
インポートしたすべての IR が保存されているフォルダを開きます。

仕様

仕様	
モデル番号	DB-EAST
名前	ブラック カントリー カスタムズ - ディグベス DB-EAST
タイプ	ベースアンプヘッド
入力インピーダンス	10MΩ
アンプ電源	2 x 500W RMS (各出力最低4オーム)
チャンネル	2チャンネル、FETと真空管、ミックスコントロール付き(リモート切り替え可能)
入力	リモート切り替え機能を備えた2つの楽器入力。ゲイントリムマッチングコントロールを追加した入力2
	2 x 6.3mm (1/4") モノラル楽器入力ジャック、6.3mm FX リターンジャック、ボリューム付き 3.5mm ステレオ補助入力ジャック
コントロール	入力セレクター、トリムコントロール、FETボリューム、FET/チューブセレクター、チューブドライブ、チューブボリューム、プルFETミックス、DI出力プリ/ポスト/LA-IRスイッチ、ヘッドフォンレベル、Auxレベル、マスターボリューム
イコライザー	ベース、ミドル(プリシェイプボイスセレクト付き)、トレブル、チルトコントロール - すべて +/- レベル付き
DI出力	各入力に続く 2 x LA-IR 装備のDI出力、グラウンド リフト付き
出力	2 x スピコン互換出力(6.3mm ジャック互換)、6.3mm FX センド、6.3mm チューナー出力、ボリューム付き 3.5mm ステレオヘッドフォンジャック、2 x XLR DI 出力、2 x 6.3mm リモートソケット、USB-C sayON®はNeutrik AGの登録商標です。
指標	チャンネル1、チャンネル2、プルミックス、実行/ミュートランプのLED
LA-IR	独自のIRをロードし、DI EQを調整するための無料のLA-IRアプリ。
電源	内部ユニバーサル100-240V~50/60Hz、スイッチングモード電源。IEC C14入力コネクタ
消費電力	通常消費電力250W、最大消費電力1500W
主な構成材料	堅牢な複合木材構造(15mm MDF)
ユニット寸法(HWD)	219 x 470 x 225mm、(8.6インチ x 18.5インチ x 8.9インチ)
単位重量	8.5kg(18.7ポンド)
カートン寸法(高さ×幅×奥行)	295 x 620 x 300mm、(11.6" x 24.4" x 11.8")、0.055 M3
梱包重量	11.5kg(25.4ポンド)
EANコード(単一)	5060109459104

注記: これはクラス A 製品です。家庭環境では、この製品が無線干渉を引き起こす可能性があります。干渉が発生した場合、ユーザーは、アンプと影響を受けるデバイス間の距離を広げる、機器の位置を変える、シールドソリューションを使用するなどの適切な対策を講じる必要があります。

寸法 (mm)



本製品を十分に活用し、トラブルなく長くお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。読み終わった後も、使用される方が参照できるように必ず安全な場所に保管してください。

1) 開梱

製品を開梱する際には、輸送中に発生した損傷の有無を確認してください。万一損傷があった場合は、ユニットを元の箱に戻し、販売店にご相談ください。元の輸送用の箱を保管しておくことをお勧めします。万一、機器に不具合が発生した場合でも、修理発送のための梱包が容易になります。

2) アンプの接続

損傷を避けるために、システムの電源をオン/オフするための手順を決めることをお勧めします。すべての機器の接続が完了した状態で、ソース機器、ミキサー、エフェクト・プロセッサなどの電源を入れた後に、アンプの電源を入れます。手順を守らないと、電源のオン/オフ時に大きなノイズが発生し、スピーカーに損傷を与える可能性があります。レベルコントロールが最小に設定されていることを確認し、アンプの電源を最後にオンにしてください。すべてのシステム部品が安定するまで待ちます（通常は数秒）。同様に、システムの電源を切るときは、必ずアンプのレベル・コントロールを下げてから、最初に電源を切ってください。

3) ケーブル: アンプからスピーカーへの接続にシールドケーブルやマイクケーブルを使用しないでください。アンプの負荷を十分に処理できず、システム全体に損傷を与える可能性があります。それ以外の場所では、高品質のシールドケーブルを使用してください。

4) 修理: 製品の修理は販売代理店に依頼し、ユーザーで行わないでください。

5) 機器に表示されるすべての警告に注意してください。

6) 機器に表示されるすべての指示に従ってください。

7) 機器を水の近くで使用しないでください。

8) 乾いた布で拭いてください。

9) 換気口を塞がず、メーカーの指示に従った場所に設置してください。

10) ラジエーター、ストーブ、その他の熱を発生する装置（アンプを含む）など、熱源の近くに機器を設置しないでください。

11) クラス

機器の装置は、ブレーカーのある主電源コンセントに接続する必要があります。分極プラグ、接地タイプのプラグを改造しないでください。分極プラグには 2 つのブレードがあり、一方のブレードの幅が他方よりも広がっています。接地タイプのプラグには、2 つのブレードと接地端子があります。幅広のブレードまたは接地端子は、安全のために用意されています。付属のプラグがコンセントに合わない場合は、電気工事会社に相談してください。

12) 電源コードを踏んだり、挟んだりしないように保護してください。特に、プラグ、コンセント、および装置から出ている部分に注意してください。

13) メーカーが提供する付属品のみを使用してください。

14) カート、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブルは、メーカーが指定したものか、装置と一緒に販売されたもののみを使用してください。カートを使用する場合は、転倒による負傷に注意してください。

15) ユーザーは、電源プラグ、電源スイッチに簡単にアクセス、操作できるようにする必要があります。雷が発生したとき、または長期間使用しない場合は、この製品の電源プラグを抜いてください。

16) すべてのサービスは販売代理店に依頼してください。電源コードまたはプラグが損傷した、液体をこぼした、装置に物を落とした、装置を落とした、装置が雨や湿気にさらされた、動作しないなどの場合は、修理が必要です。

17) アースピンは絶対に折らないでください。ユニットの電源コネクタに隣接して表示されている仕様の電源にのみ接続してください。

18) この製品を装置ラックに取り付ける場合は、背面サポートを使用する必要があります。

19) 機器を水にさらされないようにし、花瓶などの液体を含む物体を機器の上に置かないように注意してください。

20) 非常に高い騒音レベルにさらされると、難聴を引き起こす可能性があります。騒音による難聴のかりやすさは個人によってかなり異なりますが、強い騒音に長い時間さらされると、ほぼすべての人がある程度の聴力を失います。米国政府の労働安全衛生局（OSHA）は、許容騒音レベルを指定しています。暴露がこの制限を超えた場合、難聴を防ぐために、耳栓または聴覚保護具で保護することをお勧めします。

21) アンプのキャビネットに傾斜させる機構が備わっているため、注意して使用してください。アンプは容易に傾いてしまうため、水平で安定した面でのみ使用してください。アンプを机、テーブル、棚、またはその他の不安定な場所で操作しないでください。

22) 製品および製品マニュアルで使用されている安全に関するシンボルは次のとおりです。

Duration Per Day in Hours	Sound Level dBA, slow response
8	90
6	92
4	95
3	97
2	100
1 1/2	102
1	105
1/2	110
1/4 ou inférieur	115

 <p>CAUTION:</p>	<p>感電するリスクがあります。エンクロージャ内の絶縁されていない「危険な電圧」の存在を警告しています。</p>
 <p>WARNING:</p>	<p>製品に付属の資料に重要な操作およびメンテナンス（サービス）の指示があることを警告しています。</p>
	<p>本製品はアメリカ合衆国のFCC規則第15部に準拠しており、Class B digital deviceに認定されています。</p> <p>本製品を使用すると高周波を発信する場合があります、設置場所および使用方法によっては、無線送信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ラジオやテレビの受信に干渉する場合は、環境に応じて使用するかどうかの判断、または下記の改善策をご検討ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 受信アンテナの方向や位置を変える ● 装置と受信機の距離を離す ● 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに機器を接続する ● 販売店、またはテレビ・ラジオの技術者に相談する
	<p>この製品は、次の欧州規制、指令および規則の要件に準拠しています：CE マーク (93/68/EEC)、低電圧 (2014/35/EU)、EMC (2014/30/EU)、RoHS (2011/65) /EU)、 ErP (2009/125/EU)</p> <p>簡素化された EU 適合宣言書</p> <p>EU 適合宣言の全文は、次のインターネット アドレスで入手できます。</p> <p>http://support.laney.co.uk/approvals</p>
	<p>上記の宣言の目的は、2016 年の電気機器（安全）規則、2016 年の電磁適合性規則、2012 年の電気および電子機器規則における特定の有害物質の使用制限、エネルギーのためのエコデザインの関連する法的要件、関連製品およびエネルギー情報（修正、適用 2012年）に準拠しています。</p>
	<p>環境への影響を軽減するために、通常の家廃棄物と一緒に廃棄できません。国や自治体で適用される法律・条例に従って、承認されたリサイクル センターに持ち込む必要があります。</p>



BLACK COUNTRY CUSTOMS

HANDCRAFTED IN THE UK



LANEY ELECTRONICS LTD.
STEELPARK ROAD, COOMBSWOOD BUSINESS PARK WEST, HALESOWEN, B62 8HD. UK
FOR THE LATEST INFORMATION PLEASE VISIT WWW.LANEY.CO.UK

IN THE INTEREST OF CONTINUED DEVELOPMENT, LANEY RESERVES THE RIGHT TO AMEND PRODUCT SPECIFICATION WITHOUT PRIOR NOTIFICATION.